

スポーツ国際開発とダイバーシティ&インクルージョン ～LGBTQ+インクルージョンを考える～

6月はLGBTQのプライド月間で、世界各地で様々なイベントやキャンペーンが行われてきました。オリンピック憲章でも性的指向を含むいかなる種類の差別の禁止が謳われており、2021年6月2日にはIOCが「インクルージョン、ダイバーシティ、平等はIOCのあらゆる活動の核心的な要素であり、差別禁止はオリンピック・ムーブメントの主要な柱である」との声明を発表しています。

スポーツ・フォー・トゥモローでは2014年から多様性の尊重、共生社会の実現に向けた様々なスポーツ国際貢献活動が実施されてきました。スポーツを通じた文化交流、障がい者インクルージョン、女性エンパワメントといった活動が多く実施される中、LGBTQインクルージョンを取り入れたスポーツ国際貢献活動はあまり見られません。LGBTQインクルージョンは、スポーツ界が最後の壁と言われ、スポーツ界でのLGBTQの理解促進が課題となる中、SFTC会員の皆さんとLGBTQインクルージョンプログラムの可能性についてディスカッションしてみたいと思います！

SFT Talks パネリスト紹介



【パネリスト】 順天堂大学スポーツ健康科学部助教 野口 亜弥（のぐち あや）氏



順天堂大学スポーツ健康科学部助教。専門は「スポーツと開発」と「スポーツとジェンダー・セクシュアリティ」。スウェーデンでのプロ女子サッカー選手の実績を経て現役を引退。2015年からスポーツ庁国際課に勤務し、国際協力及び女性スポーツを担当。2018年から現職。プライドハウス東京アスリート発信チームの取り組みに2018年から積極的に関わっている。行政やスポーツ競技団体、教育機関に対してスポーツと性の多様性に関する講演や研修を実施。博士後期課程課程在籍。(一社)S.C.P. Japan共同代表



【パネリスト】 一般社団法人S.C.P. Japan 折目 真地（おりめ まち）氏



一般社団法人S.C.P. Japanメンバー。プライドハウス東京アスリート発信チームメンバー。2021年4月よりプライドハウス東京アスリート発信チームに参画。東京2020大会に向けてスポーツ界からLGBTQ+ムーブメントを醸成する業務に携わる。スポーツとLGBTQ+の課題に取り組む国外の組織と連携したプロジェクトや国内スポーツ組織と連携したプライドマッチの企画運営に携わる。プライド月間にあたる6月は「LGBTQ+とスポーツ」に関するウェビナーを企画実施。筑波大学スポーツ国際開発学共同専攻(IDS)に在籍。



【パネリスト】 スフィーダ世田谷FC 下山田 志帆（しもやまだ しほ）氏



女子サッカー選手。なでしこリーグ1部スフィーダ世田谷FC所属。株式会社Rebolt代表。慶應義塾大学卒業後、女子ブンデスリーガ2部SVメッペンで2年間プロ選手としてプレー。2019年2月の在独時に同性パートナーがいることを公表した。2019年夏に帰国後、「スポーツとLGBTQ」を軸に現役アスリートの立場から発信している。

2021年7月19日（月）18：00～19：30

 開催日時：2021年7月19日（月）18：00～19：30
（入室開始：17：45～）

 開催形式：オンライン（Zoom）
7月16日（金）15:00 にZoom URLをお送りします。

 対象：SFTC会員

 参加申し込みフォーム

https://www13.webcas.net/form/pub/sft_survey/sft04

申し込み締め切り：7月16日（金）12:00

 プログラム

時間	内容
17:45	入室開始
18:00-18:05	本日の流れの説明
18:05-18:45	パネルトーク ・LGBTQ の国際的な動き・開発途上国の動き・スポーツ界の動き （順天堂大学スポーツ健康科学部助教 野口 亜弥氏） ・具体事例・海外事例・プライドハウス東京の事例紹介 （S.C.P. Japan 折目 真地氏） ・アスリートから見た LGBTQ に関する日本の課題 （スフィード世田谷 FC 下山田 志帆氏） Q&A
18:45-19:25	会員懇談： 「スポーツ国際開発でのLGBTQ+プログラムの可能性を考えてみる」
19:25-19:30	まとめ、閉会

 お問い合わせ先

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局
（独立行政法人日本スポーツ振興センター内）
（電話）03-6804-2776
（メール）sft.info@jpnssport.go.jp（担当：山田佐知子）